



OCHI HOKAI

# 落穂会だより

社会福祉法人 **落穂会**

2020年  
**130号**

令和2年4月1日  
発行

- P2. ベアレント・プログラムを活用した地域貢献について
- P3. 保護者からの感想  
令和2年度 社会福祉法人落穂会 最重点目標
- P4. My Field (マイフィールド)
- P5. さんぼみち
- P6. SNAPスナップ
- P7. TOPIX (トピックス)
- P8. 成人祝い  
Bakery 楓 新商品紹介  
ぎゅらりーASAHIYA



マルヤガーデンズ & ガーデンキッズセルク

## 子育て支援講座 「ペアレント・プログラム」

ベアレント・プログラム  
とは何ですか？  
保護者の方へ  
お知らせします。

託児有り

参加無料

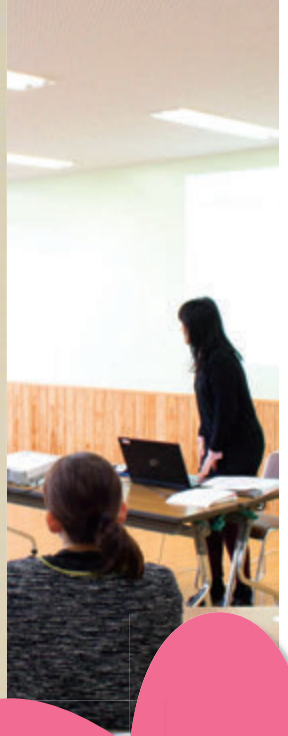
要予約

9/12(木) 13:00 - 14:30

「ペアレントプログラム」とは？  
保護者の方々が、子どもとのより良いかわり方を学びながら、  
日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てができるよう  
に支援する、保護者向けの全6回プログラムです。

# 会場

Maruya gardens



落穂会児童通所部門では、事業所の開所当初から家族へのサポートとして個別相談や、家庭での子育てに関する困りごとの相談も受けてきましたが、子どもとの向き合い方がわからず自信を無くしかけている家族への支援方法として、平成29年度からペアレント・プログラムを導入しています。

開催にあたって、平成28年度にこども総合療育センターが主催する研修型のペアレント・プログラムに職員2名が参加し、計8回の研修を受講しました。ペアレント・トレーニングを全国に普及するために、その前段階の位置づけとしてのペアレント・プログラムは、保護者の認知的な枠組みを修正することを目指した簡易なプログラムとして開発されました。「行動で考える」「行動で見る」ことに特化しているため、簡単にでき、保護者が、子どもの個性に合った育て方を知り、子育てを楽しむための「子育て応援プログラム」です。

実績としては、平成29年、地域生活支援センターあさひが丘にて保護者7名の参加で1回開催。平成30年、地域生活支援センターあさひが丘及びガーデンキッズセルクにて保護者向け3回、あさひが丘学園職員向け2回開催しました。令和元年、保護者向け4回・職員向け2回を地域生活支援センターあさひが丘及びガーデンキッズセルクにて行いました。令和元年度においては、9月から10月にかけて、一般公募による子育て中のすべての家族を対象としたペアレント・プログラムについて、マルヤガーデンズ7階ガーデンズ7の会場を使用させていただき、ガーデンキッズセルクで託児を行い、マルヤガーデンズとコラボした取り組みを行う事ができました。6回コースのため、参加者が集まるか不安もありましたが8名の方が参加され、川辺から毎回参加して下さった子育て中のお母さんもいらっしゃいました。

参加後の感想については、保護者からは「プログ

ラムに参加する事で、子どもの行動の見方が変わった」「子どもにことばをかける回数が増え頭をなでたりする回数も増えた」「子どものいつもの行動・当たり前の行動でもほめられるようになり、ハグの回数も増えた」「まあいいか」「子どもも私もがんばっていると前向きに考えられるようになった」など保護者が肩の力を抜いて子育てを楽しんでもよいのだと気持ちが切り替えられたのだという事が感じられました。日々入所児童や施設入所支援・生活介護等の部署で勤務している職員からは、「プログラムで取り上げた利用者に普段より優しい気持ちで、笑顔で接することが増え、良い所に目を向けようとしている自分がいた」「利用者だけでなく、自分の身近な人たちへもほめる事や感謝のことばを伝える事が増えた」「発言する事が多いプログラムだったが、考えを否定されることなく、一つ一つの発言に皆が耳を傾け、終わると拍手がかえってくるため、自分の発言にも自信がもてた」「個別支援計画を作成するときに、ペアプロの考え方が参考になった」など子どもや利用者への見方が変わったことが実感できる感想が多く寄せられました。

保護者支援として、施設内研修から始まったペアレント・プログラムですが、このプログラムは障害があるお子さんだけでなく子育てをするすべての保護者に活用できるプログラムであると思われます。今後も障害がある保護者・施設職員だけに留まらずすべての子育て中の家族支援のツールとしてペアレント・プログラムを活用することで、障害を持つ方々への理解も深まり、地域貢献の取り組みにもつながると考えます。「子育てが楽しい」とより多くのお母さん方に思っていただけのように、マルヤガーデンズのお力を借りながら継続して取り組んでいこうと思います。



## 保護者からの感想



子どもと向き合う良い機会となった。

自分だけでは解決できないこともヒントをもらえた。

家庭での子育てのコツや考え方のヒントについて学びを深め、保護者同士の繋がりもできた。

プログラムに参加することで、子どもの行動の見方が変わった。

子どもを誉めることが増え、夫も楽しそうな雰囲気になり家庭が明るくなった。

子どものいつもの行動・当たり前の行動でもほめられるようになり、ハグの回数も増えた。

子どもにことばをかける回数が増え、頭をなでたりする回数も増えた。

講師の話をお聴きだけだと思ったら、自分も毎回発表があり、話すのが苦手な為、逃げ出したいと思ったが、他の参加者の意見や話も聴けて参考になり、納得できることも多かった。

「まあいいか」「子ども私もがんばっている」と前向きに考えられるようになった。

子どもがすることには必ず理由があり、何かあったときに理由を聞くようになった。

「ギリギリセーフ」をみつけ、マイナスがプラスになることが新鮮だった。

プログラムの話をすることで夫がより理解を示してくれるようになった。

自分自身が少し余裕をもって行動し、子どもに対してちゃんと目を向けられるようになることで子どもも成長するのだと思った。

## 令和2年度 社会福祉法人落穂会 最重点目標

### (1) 中期経営計画の策定

【目指す成果】中期経営計画の完成と各職員への説明の完了

昨年度立ち上げた中期経営計画策定委員会を継続し、今年度中に法人全体の中期経営計画を策定することを目標とする。昨年度定めた「経営ビジョン」に基づき、経営戦略から具体的なアクションプランまで策定し、令和3年度からの運用に向けて準備を進める。合わせて、計画が形骸化しないように、計画に対する振り返りと修正計画策定の仕組みづくりも行う事を目指す。

### (2) 職員必携書「共生と共創」の自発的な行動化

【目指す成果】部署ごとに職員必携浸透の取り組み方法を確立

昨年度に引き続き、職員必携の行動化を掲げているが、将来的には、職員必携に記載されていることが無意識的に行動できるような状態を目指す。これまでは、朝礼・チーム会議・人事考課などの法人全体の取り組みを通じて職員必携と日々の仕事を接続させようとチャレンジしてきたが、今年度は、部署ごとの取り組みを通じて職員必携が自身の行動の指針となるような状態を目指す。具体的な進め方は、各部署の勤務形態や規模などを踏まえて、実態に合わせて、なるべく職員の負担がかからない方法を模索する。また、部署ごとの取り組みを組織全体で共有する機会を設ける。

### (3) 地域交流の再定義と地域の課題解決への着手

【目指す成果】新たな地域交流活動への着手と意図的な地域課題解決事例づくり

これまで地域交流を行う中でみてきたのは、「地域創生のステップの見直し」である。地域の課題解決のために地域との関係性を構築し、課題を把握することを位置づけてきたが、経営理念を実現するためには、地域との関係性を構築することそのものに価値があると位置づける必要がある。利用者が地域に溶け込んで生活できるよう、地域との交流をより広く、より深いものとする取り組みを行いながら、見えてきた地域課題への解決に着手することを並行して進める。

### (4) 「人が育つ」組織づくり

【目指す成果】「良いチームの基準」と「チーム作りのプロセス」の整理

「上司と部下」という1対1の育成ではなく、「人が育つチームづくり」を実現することで、チームメンバーが互いに刺激を与えながら成長できる環境をつくることを目標とする。そのために、経営幹部会議の場を中心に各所属長が自チームをどのように運営していくかについて考える機会をつくる。実際に自部署で取り組んだことを他メンバーに共有し、議論をしながら「良いチームづくり」を全員で推し進め、中期経営計画と接続することを目指す。

### (5) 「個と組織を生かす」働き方改革

【目指す成果】業務効率化における現場発のアイデアの導入

働き方改革や業務の効率化の目的は、働く職員が成長し、それが法人の成長につながることである。そのため、「思考を止めずに自らの頭で考え続ける事」が必要である。まずは、「仕方がない」「どうせ無理」という言葉を捨て、「じゃあどうするか」「ここからならできる」などできることに着目する姿勢を身につけることを目指す。その上で、チーム会議等の機会をつかって自分達で考えた方法を自分達起点で行動に起こしていくことを目標とする。



# マイ フィールド My Field



正義感が強く男気溢れるナイスガイ

## 山下 直人 (37歳)

障害者支援施設あさひが丘  
成人部1寮チーフ支援員

**Q1 学園にきて何年?**  
5年です。

**Q2 学園の前は?**  
公務員です。

**Q3 こーむいん(笑) 範囲が広いけど具体的には?**  
警察官です。

**Q4 おおー。警察官から、なぜあさひが丘へ?**  
警察官の時代から人のために何か役に立ちたい、尽くしていきたいという気持ちが強くありました。妻の実家が鹿児島で、近くの方がいいかなという思いもあり、警察官を辞めて仕事と考えると、やはり何か人のためになる仕事はないか、自分に出来る事は何かないかと思い、福祉業界に身を投じました。

**Q5 不安はなかった?**  
なかった訳ではないですが、見学に来させてもらって、利用者さんたちを見て、何かははっきりしないけどビビッときてお世話になることにしました。

**Q6 家族は?**  
妻と子供3人。8歳・6歳・4歳です。

**Q7 休日は?**  
家族と過ごしますが、特に趣味もなく・・・最近、釣りに行ってみて楽しさや釣りたい欲求が高まっています。(笑) 釣った魚を家族が喜んで食べてくれたので。

**Q8 子供に何か望むこととありますか?**  
やはり、長男には厳しく当たってしまうかなと思います。

**Q9 奥さんともめたり?**  
でも、それがきっかけになって会話が生まれたり、いい方向に進んでいると思います。

**Q10 妻の実家が鹿児島という事ですが、山下さんの出身は?**  
宮崎です。学生時代が鹿児島でした。

**Q11 そうなんです。仕事の中で、思い描いていた事とのギャップは何かある?**  
ギャップというか、利用者の生活を支えるとても良い仕事だと感じています。

**Q12 楽しい?**  
はい。思った以上に楽しく来ています。

**Q13 難しさは?**  
ことばでの意思疎通が難しいので、分かってあげられない時もある。チーム職員と相談しながら、対応している。だからこそチームワークの大切さを感じています。

**Q14 チームワークに大切な要素は?**  
よく会話をして、相手のことをよく知ることですかね。これは利用者も職員も同じだと思います。

**Q15 自分の夢や目指すところは?**  
うーん・・・一番は楽しく過ごしたいかな。仕事では、何か任せてもらえるのならそれに対して全力でこたえたい気持ちがあります。

**Q16 やっぱり正義感ですね(笑) 弱点は?**  
昔から、気にしいだった。人に言われたことを気にしてしまう。前職では縦社会と言うこともあり、正しいと思ったことを言いきれない事もあったり・・・ですね。

**Q17 学生時代の武勇伝は?**  
特にないですけど、バスケットをずっとしていたので、子ども達にもやってもらいたいと思ってます。特に三番目はセンスがあるとも思ってて(笑)。

**Q18 親ばか?**  
あるかもだけど、センスの違いってあるなと感じています。

**Q19 最後に、この場を借りて理事長に何か一言**  
私がこの学園で教わったのは、前を向いていく事の大切さだと思っています。現状維持は良くないということをしごく学んできた気がします。だから注文とかは特に・・・あえて言うと、これまで話をさせてもらう機会が多かったわけではないので、もっと話をしたいと思っています。

**Q20 理事長に伝えておきます(笑)**  
今日は色々ありがとうございました。

## あさひが丘学園 児童部Cユニット 中島 優衣さん



- Q 今何年生ですか？  
A 鹿児島養護学校高等部2年生です。
- Q 学校は楽しい？  
A はい。
- Q どんなどころ？  
A 友達と会うこととか、好きな勉強をすること。
- Q 勉強が好きなの？  
A すきな勉強をするのが好き。
- Q どんな勉強が好き？  
A 作業学習が好き。
- Q 作業学習はどんなことするの？  
A 洗車をしたり、アイロンがけしたり、接客をします。
- Q 接客ってどういう役割で？  
A いらっしゃいませとか会計の人をしたりする。
- Q 他に好きな授業は？  
A 音楽。琴とか弾いたりする。
- Q 琴を弾くんだ。大人になっても続けたいぐらい好き？  
A いや。面白いけど学校だけでいい。(笑)
- Q 友達は？  
A よく話してくれる友達がいる。
- Q どんな話をするの？  
A 今日の授業の内容とか。
- Q 真面目ですね(笑) 芸能人の話とかしないの？  
A する。オフィシャル髷団とか。歌を聴くのが好き。
- Q 恋の話とかはしないの？  
A する。(※返答については、皆様ご想像ください)
- Q 好きな料理は？  
A 牛肉。焼いたりして食べるのが好き。
- Q ユニットでは調理実習もしてるけど得意な料理は？  
A 卵焼きとか作る。

- Q 休日は何して過ごしていますか？  
A カラオケとか、たまに買い物とか、タブレットみたりする。
- Q 学校の宿題とかもあるんじゃないですか？  
A 日記がある。
- Q 毎日書いてますか？  
A たまに忘れる。
- Q じゃあ、まとめて書くこともある？  
A そのまま出しちゃう。
- Q そのまま出しちゃうの！？怒られない？  
A う〜ん…大丈夫(笑)
- Q 何か将来のことでやりたいことありますか？  
A 一般就労して働きたい。
- Q どんな仕事をしてみたい？  
A 接客とか。
- Q 接客では授業でどんなことを習った？  
A 笑顔が大事なこと。
- Q そっか。今日も笑顔で答えてくれますね。生活はどうする？  
A グループホームに住みたい。一人暮らしも興味あるけど大変そうだから。
- Q お給料をもらったら何する？  
A 旅行に行ってみたい。北海道とか沖縄とか日本全部。
- Q じゃあたくさん稼がないとね。  
A 頑張る。
- Q 最後に、職員に言っておきたいこととかありますか？  
A 言いたいこと…。お休みの日にもっとどこかいいかなとは思っているけど…。いつも、話たくさん聞いてくれて相談に乗ってくれたり、感謝してる。
- Q 感謝してる！職員がこの文章を読んだら、涙がでるかもね。  
A (笑)

笑顔が素敵で、凄く素直な優衣さんでした。今日はありがとうございました。  
これからも頑張ってくださいね。応援しています。

## 「成長」 旭福祉センター保護者 有馬 百合子

旭福祉センターに入所し、働かせていただくようになってから、一年が経とうとしています。串木野養護学校を卒業し、親元を離れて生活をする事になり、息子も私も不安でとても心配していました。

入所してから暫く経ち、久しぶりに息子と会うと「やっぱ僕には無理だ！駄目だ！」と話しながら涙ぐむことが度々ありました。言葉遣いや態度が原因で、他の利用者の方とトラブルになることもあったようですが、旭福祉センターの方々がその都度対応し、色々教えて下さっていて、少しずつではありますが良い方向に改善出来てきているようです。

旭福祉センターでの生活にも慣れてきている様子で、電話

をかけてきては「今日は〇〇の作業をしたよ」とその日の出来事を話してくれるようになりました。苦手なことや大変なことがいっぱいあるかと思いますが、一つ一つ乗り越えて成長して欲しいと思います。

旭福祉センターの方々には、これからも色々な面でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。息子も多くの人に助けってもらいながら、頑張っていってほしいです。



## 旭福祉センター



新年会

「楽しい時間にみんなこの笑顔」



たのしい大正琴発表会

大正琴発表会

「この日の為に一生懸命練習しました」

## あさひが丘学園



棒踊り

「注目の的ですよ」



棒踊り

「軽やかに飛んでいます」

## 地域生活支援センターあさひが丘



園外療育

「お母さんのつくったおにぎり、おいしいね」



きょうだい児支援会

「お父さん、お母さんと一緒に楽しめたね」



丸岡山登山

「きれいな日の出を拝めました。今年もいろいろありますように」



鬼火焚き

「焼き餅、おいしかったですね」



新成人を祝う会

「20歳を迎えました！」

●1月1日(水) 丸岡山登山

あさひが丘グループホームの利用者、あさひが丘学園の児童、職員、地域の方々が丸岡山に登りました。天候にも恵まれ、素敵な初日の出を拝むことが出来ました。

●1月10日(金) 新成人を祝う会(鹿児島県知的障害者福祉協会主催)

あさひが丘3名、地域生活支援センター5名の利用者が成人を迎えました。今辻明さんは、壇上で記念品を受け取り、緊張しながらも立派に務めました。

●1月11日(土) 鬼火焚き

あさひが丘グループホームの利用者と職員で地域の鬼火焚きに参加しました。しっかり厄払いできました。

●1月18日(土) 児童発達支援・放課後等デイサービス 合同保護者会

地域生活支援センターで実施し、参加者は60家族、66名でした。センター長の講話後は、茶話会が行われました。「こどもへの関わり方を考え直す機会になった」など多くの感想をいただきました。

●1月25日(土) あさひが丘保護者職員懇親会

あさひが丘14家族18名、職員26名が参加し、歓談を楽しみました。

●1月26日(日) 旭福祉センター新年会

今年も新人職員のパフォーマンス、生活介護班の演奏発表、カラオケ大会、大抽選会といったイベント盛りだくさんで、笑顔あふれる新年会となりました。

●2月10日(月) 楽しい大正琴発表会

山形屋文化ホールにて第35回楽しい大正琴発表会が開催され旭福祉センターより利用者11名が参加し、一生懸命演奏しました。

●2月15日(土) きょうだい児支援会

児童発達支援、放課後等デイサービス利用者の兄弟(小学生)の方々を対象に、きょうだい児支援会を地域生活支援センターで開催し3組の親子が参加されました。親子で協力しながらゲームに取り組んだり、子ども達同士でルール遊びをしたりしました。

●2月23日(日) 春山地区ふるさと祭り

あさひが丘では、グループホームと学園から職員も参加し、塚田神社にて地域の方と棒踊りの奉納を行いました。町内会の長寿会や和太鼓の演奏もあり、一体感に包まれた催しとなりました。当日の様子は、SNAPスナップでも紹介しています。

●2月27日(木)～3月1日(日) 全国ナイスハートバザール2019 in 鹿児島

山形屋の大催場にて、鹿児島県内をはじめ全国の社会就労センター(障害者就労支援事業所等)で生産・製造された商品が展示販売され、旭福祉センターからも出店しました。

●3月3日(火) 希路園外療育

児童発達支援希路のこども達10名が園外療育に参加しました。シュバルに出かけ、馬とふれあい、みんなでお弁当を食べました。

●3月9日(月) みつばちプロジェクト

ガーデンキッズセルクのこども達がプロジェクトに参加しました。マルヤガーデンズ屋上で養蜂家高野氏にみつばちの話を聞いた後、みんなではちみつの試食をしました。

●3月30日(月)・31日(火) 児童発達支援閉級式

児童発達支援センター歩路24名、ガーデンキッズセルク21名、ガーデンキッズトリア5名、希路13名のこども達が卒園を迎えました。



# 成人祝い

地域生活支援センターあさひが丘



**今辻 明 さん**

ホームでは、ランチョンマットなどの準備を自分からしています。  
お金をたくさんたまったら、欲しいものを買います。



**福永 舜 さん**

あすもねでシールをはりがんばりました。  
グループホームでがんばります。



**岡村 涼介 さん**

おか子やペプシがたのしいです。まい日がたのしいです。  
なかよしやうれしいことがおしごとをがんばりたいと思います。

障害者支援施設あさひが丘



**酒井 航世 さん**

これからも、えがおでまいにちげんきに、たのしみながら、かつどうをがんばります。



**中村 歩生 さん**

成人式を迎え、大人の仲間入りをしました。  
感謝の気持ちを忘れずに、任された仕事を精一杯頑張ります。



**吉野 央人 さん**

皆さんに支えられて、成人を迎える事ができました。  
これからも元気に仕事を頑張っていきたいです。



**道添 星 さん**

元気に笑顔で色々な事にチャレンジしたいです。  
パズルも頑張ります。



## 新商品紹介

桜の風味とあんこの甘さが口に広がり、真ん中にある桜の塩漬けがアクセントになっています。

桜あんパン  
1個 **140**円(税込)



## ぎゅらりー-ASAHIYA

インスタ絶賛更新中!  
【 #gallery.\_asahiya 】



社会福祉法人 落穂会  
鹿児島市皆与志町 2503 番地  
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>  
<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設  
あさひが丘学園  
TEL 099-238-4821

障害者支援施設  
あさひが丘  
TEL 099-238-4821

地域生活支援センター  
あさひが丘  
TEL 099-243-1112

障害者支援施設  
旭福祉センター  
TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業  
第二旭福祉センター  
TEL 099-244-3551